



令和6年9月2日

No. 476

＜令和6年度全国事務局長会議の開催＞

令和6年8月1日(木)～2日(金)、神奈川県横浜市のワークピア横浜において、全国から事務局長45名、事務局担当者等45名の合計90名の出席のもと、令和6年度全国事務局長会議が開催されました。

会議初日は、討議として4項目について説明が行われ、その後、講演が行われました。内容は下記のとおりです。

―討議―

- 令和6年度事業と予算等について
- 本部事業について
- 地方協会活動の活性化と会員の加入促進等について
- 地方協会運営の留意点
- 質疑応答

―講演―

- 「最近の国土交通行政の動向」
国土交通省大臣官房技術調査官 西野毅 氏
- 「止まらない日本の転落―変わらない国の悲劇―」
本協会 大石久和 会長

講演終了後には会場を変えて、57名の参加を得て、意見交換会が開催されました。意見交換会では、大石久和会長の挨拶に続いて、岩崎福久国土交通省関東地方整備局長及び池田一紀神奈川県土整備局技監からご挨拶を頂きました。

意見交換会では、会員同士の交流が活発に行われ、それぞれの地方協会の実情などについて情報交換されました。

会議2日目は36名が参加し、下記の箇所の現場研修を行いました。

- 高速横浜環状南線（栄工区）
- 金井第二遊水地整備事業
- 川和遊水地・川和車両基地



【会議での討議の様子】



【高速横浜環状南線（栄工区）での視察の様子】

＜第703回建設技術講習会を富山市で開催＞

第703回建設技術講習会が、富山市で令和6年8月7日(水)～8月9日(金)の日程で、「i-Construction とインフラ分野のDX」をテーマに全国から199名の参加を得て開催しました。講習会初日は、下記の3講演が行われました。

- これからの建設行政と公務員技術者
- i-Construction とインフラ分野のDX
- AI と i-Construction が切り拓く社会インフラの未来

講習会2日目は、下記の4講演と講習会3日目の現場研修で視察する地域事業の事前紹介が行われました。

- 建設業界で進む、生産性向上策への考え方とデバイスの上手な活用方法
- ICTの先進的な取り組み
- 官庁営繕事業におけるBIM等の生産性向上の取組
- 施工のオートメーション化に向けて
- 地域事業の紹介 3事例

講習会3日目の現場研修は、142名が参加して「ブルーバール広場及び親水広場再整備事業」、「富山駅付近連続立体交差事業」、「一般国道8号（高岡環状道路）六家立体事業」を視察しました。

また、初日の講習会終了後、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を46名の参加を得て開催しました。



(一財)建設業技術者センター
谷口博昭顧問の講演の様子



現場研修の様子「一般国道8号六家立体事業」
(ICT技術を用いた基礎杭出来形管理 他)

<第704回建設技術講習会を盛岡市で開催>

第704回建設技術講習会が、盛岡市で令和6年8月21日(水)～8月23日(金)の日程で、「道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題」をテーマに、全国から248名の参加を得て開催しました。

講習会初日は、下記の2講演と講習会3日目の現場研修で視察する地域事業の事前紹介が行われました。

- 道路行政をとりまく最近の情勢について
- 港湾政策の動向
- 地域事業の紹介 3事例

講習会2日目は、道路部門と港湾・漁港部門の2会場に分かれ、それぞれ下記の講演が行われました。

(道路部門)

- 道路行政に関する施策の体系と今後の展望
- 我が国の道路メンテナンスの現状
- 道路交通安全対策と自転車の利用環境整備の推進に向けて
- 能登半島地震を踏まえた道路の防災対策と無電柱化対策の重要性について
- 地方創生・観光を加速する人中心のみちづくり・拠点づくり

(港湾・漁港部門)

- 東北地域の港湾行政について
- 港湾におけるi-Constructionの取組
- カーボンニュートラルポート(CNP)の形成に向けて
- 港湾における防災・減災対策の動向
- 漁港漁場行政に関する施策の体系と今後の展望

講習会3日目の現場研修は、144名が参加して「一般国道46号盛岡西バイパス整備事業」、「道の駅もりおか渋民」、「宮古港出崎ふ頭/閉伊川水門」の視察が行われました。

また、初日の講習会終了後、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を43名の参加を得て開催しました。



国土交通省道路局
小林賢太郎企画課長の講演の様子



現場研修の様子
「一般国道46号 盛岡西バイパス整備事業」

＜機関誌編集委員会の開催＞

－機関誌編集委員会－

令和 6 年 8 月 28 日(水)、久田成昭委員長（国土交通省港湾局技術企画課長）はじめ委員 12 名の出席のもと、機関誌編集委員会が WEB 会議で開催されました。

委員会では、下記の議事が審議され、すべて了承されました。

- 機関誌合同編集委員会で頂いた主なご意見への対応（案）
- 月刊「建設」令和 7 年度特集テーマ年間計画の設定
- 月刊「建設」令和 7 年 4 月号、5 月号の「特集テーマ（サブタイトル）」、「特集担当副委員長」の決定
- 月刊「建設」12 月号編集計画
 - ＊特集 インフラのストック効果
- 月刊「建設」1 月号編集計画
 - ＊特集 公共工事の生産性の向上に向けて

＜全会員対象 全建会員安心サポート制度について＞

全建では、全会員を対象とする「全建会員安心サポート制度」を運用しています。サポートの内容は次のとおりです。

①建設系公務員求償補償サポート

国家賠償法によって公務員個人が求償されたときの損害賠償金を、50万円を限度に補償します。なお、幅広いリスクを対象に、より手厚く安心な補償上乘せ（最大 1 億円）ができる建設系公務員賠償責任保険への加入をおすすめしています。

②弁護士・医師等電話相談サポート

法律・税務・社会保険・医療・介護について、専門の弁護士・医師等による電話相談サポートがご利用いただけます。

全建では、会員が安心して職務を遂行することができるよう、会員サービスの充実に努めてまいります。

詳細については、下記の全建ホームページ（会員サービス）又は QR コードをご参照ください。

<https://www.zenken.com/service/ansin/ansin.html>



【問い合わせ先】 会員課 戸村 小沢

TEL：03-3585-4546 E-mail：kaiin@zenken.com

＜「訴えられたら」どうしますか!? インフラの管理瑕疵で… 入札契約で…

～皆様からの声にお応えし、補償拡充プランが新登場～

2024 年度建設系公務員賠償責任保険 建設系機構・公社等職員賠償責任保険 中途加入受付中!!>

安心して公務に従事していただくため、保険未加入の会員の皆様は、是非この機会に本保険の加入をご検討ください。

例えば、下記のような事項に起因して、あなたが訴えられる可能性があります。

- 道路、河川等の設置又は管理瑕疵に起因した災害において損害が生じた
（パトロールの見落とし、施設の老朽化、点検不足等）
- 工事中の事故に対する現場監督官の責務、工事検査の評点の不服
- 入札契約関連（積算ミスや技術審査への不服等に起因する入札業者からの訴訟）
- 許認可関連や情報公開請求（手続きの不備や遅れ、土地の境界争い等）

- 地元対応（言った、言わないなど、説明不足に起因した施工に対するトラブル）

本保険が好評な理由

- 建設系公務員等のリスクに対応した新しい保険
- 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償
- 退職後も5年間の補償が続く
- インターネットでも加入・更新の手続きができる

2024年度保険には、令和6年8月1日からの通年契約に、建設系公務員賠償責任保険には4,196名、機構・公社等職員賠償責任保険には272名の会員の皆様に加入していただきました。

今年度から皆様の声にお応えし、補償内容が3億円を限度とするプラン（Sタイプ）を新設しました。（建設系公務員賠償責任保険についてはこれまでの5,000万円を限度とするプランがなくなりますのでご注意ください。）

本保険は、各年の8月1日からの1年間を保険期間としておりますが、通年契約でなくても「いつでも中途加入できます」。

2023年度保険でも建設系公務員賠償責任保険には795名の方が中途加入し、令和6年5月末時点は4,925名の方が加入しています。機構・公社等職員賠償責任保険には36名の方が中途加入し、令和6年5月末時点は316名の方が加入しています。

- ①本保険は、正会員の皆様であればいつでも加入でき、中途加入の場合の保険料は月割り計算となります。
- ②2024年度保険パンフレット及び申込書（払込取扱票）は月刊「建設」2024年6月号に同封致しました。追加送付のご希望がありましたら、必要部数を下記取扱代理店までご連絡ください。（パンフレットは、全建ホームページからご覧いただくこともできます）
- ③加入（更新）手続きがインターネットでも行えます。
- ④各種の特約がついておりますので、保険の内容や加入手続きについての詳細は、下記の全建ホームページ（会員サービス）又はQRコードをご参照ください。

- ・ 建設系公務員賠償責任保険

<https://www.zenken.com/service/hoken/hoken.html>



- ・ 機構・公社等職員 賠償責任保険

https://www.zenken.com/service/k_hoken/k_hoken.html



【問い合わせ先】

- 本保険内容に関する問い合わせ・ご相談・パンフレット（払込取扱票）の入手
取扱代理店：建栄サービス株式会社 木村・渡辺
（受付時間）土・日・祝日を除く 9：15～17：00
TEL：03-3291-6340 E-mail：kb-madoguchj@kenei-s.co.jp
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-1 山城ビル2階

引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社
（担当） 公務第一部 公務第一課 古木・養和
（受付時間）土・日・祝日を除く 9：00～17：00
TEL：03-3515-4122 〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

- 団体保険契約担当（会員に関する問い合わせ）
会員課 戸村 小沢
TEL：03-3585-4546 E-mail：kaiin@zenken.com

< 全建CPD（継続教育）の利用について >

全建は建設系CPD協議会に加盟しています。このため、全建のCPDに利用者登録し、認定された単位は、他の建設系CPD協議会加盟団体での認定と同様の扱いとなります（一部を除く）。

他のCPD加盟団体の講演会等に参加する機会の少ない地域においても、全建地方協会等の講演会に参加し全建CPDを取得すれば、他の建設系CPD協議会加盟団体での認定と同様の扱いを受けることが可能です。

全建会員は、全建CPD制度へ無料で利用者登録できますので、是非ご利用ください。

全建CPD制度の詳細につきましては、下記の全建ホームページ又はQRコードをご参照ください。

https://www.zenken.com/ZK_CPD/main.html



【問い合わせ先】 事業課 高野 春日

TEL：03-3585-4546 E-mail：zkcpd@zenken.com

< 「伝承プロジェクト」（出前講座）の活用について >

「伝承プロジェクト」は技術の伝承を目的に、貴重な体験や取組をした官公庁等技術者が、他の地方協会で行われる出前講座の講師となり技術等を伝え、また地方協会間を結んでいく事業です。

出前講座 講演分野「東日本大震災」
「平成28年熊本地震」
「平成30年7月豪雨災害」
「令和元年度東日本台風」

派遣協会 岩手県、宮城県、仙台市、福島県、広島県、熊本県

講師派遣費用（2名／1回まで）の全額、実施運営費の一部（上限4万円）は、本会が負担します。貴重な体験や新しい取組みの伝承にぜひご活用ください。下記の全建ホームページ（地方協会等事務局のページ）又はQRコードをご参照ください。（ログインが必要です。）

https://www.zenken.com/jimu/jimukyoku/jyosei/densyou/densyou_jyosei.html



【問い合わせ先】 事業課 高野 杉戸

TEL：03-3585-4546 E-mail：kensyu@zenken.com

< 全建本部と地方協会・地区連合会との情報交換等について >

全建本部では、地方協会・地区連合会との情報交換を密にし、より一層皆様の声を反映した事業を実施し、更なる全建活動の活性化を図ってまいりたいと考えています。

総会等の開催をご案内いただければ、全国的な動向について情報提供するとともに、会員の皆様のご意見等を伺う機会として、可能な限り出席させていただきます。

つきましては、総会等の開催の機会がございましたら、全建本部までご連絡いただきますようお願いいたします。なお、交通費等について地方協会にご負担いただくことはありません。

【問い合わせ先】 総務課 木下

TEL：03-3585-4546 E-mail：soumu@zenken.com

＜「基礎から学ぶインフラ講座」－第4版－ 販売中＞

全建では、月刊「建設」に連載中の「基礎から学ぶインフラ講座」をとりまとめて書籍として出版しておりますが、この度、第4版を出版しました。

本書は河川、道路、港湾、都市公園等の各事業について、管理区分、事業制度、技術的基準などを、出典を含めて基礎から学ぶことができます。また、分野横断的なものとして、入札契約制度や事業評価制度の概要や趣旨についても掲載しています。

第4版では、維持管理事業を追加し、掲載する事業・制度数が初版の約4倍となり、より充実した内容となっております。また、第3版に掲載していた事業についても、最新の統計値や最新の制度改正等を反映するよう、加筆・更新しています。下記の全建ホームページ（出版物）又はQRコードをご参照ください。

- ・一般技術図書：<https://www.zenken.com/syuppan/ippantosyo/ippantosyo.html>



○第4版の概要

- ・形 式：A4判、200頁
- ・発 行：令和6年3月
- ・定 価：2,750円（税込） 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 田中

TEL：03-3585-4546 E-mail：kikaku@zenken.com

＜「監督・検査・成績評定の手引き」－三訂版－ 販売中＞

公共事業の品質確保のための「監督・検査・成績評定の手引き」（三訂版）を出版しました。これは平成25年以来11年ぶりの改訂であり、施工データの自動計測、クラウド管理及び映像記録の活用といったICT(IoT)の導入、遠隔臨場の活用・普及及び工事関係書類の簡素化など、大きく変化した建設業の取り巻く状況に対応したものとなっています。

下記の全建ホームページ（出版物）又はQRコードをご参照ください。

- ・一般技術図書：<https://www.zenken.com/syuppan/ippantosyo/ippantosyo.html>



○三訂版の概要

- ・形 式：A4判、409頁
- ・発 行：令和6年2月
- ・定 価：3,190円（税込） 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 田中

TEL：03-3585-4546 E-mail：kikaku@zenken.com

＜「令和6年 災害手帳」販売中＞

本会出版の「令和6年災害手帳」は、災害復旧事業に関する国庫負担申請の事務手続きや、関連して必要となる技術的な留意点について解説したハンドブックです。初めて災害復旧事業に携わる方々にも容易に理解できるように、用語の解説や索引など、わかりやすい編集になっています。

下記の全建ホームページ（出版物）又はQRコードをご参照ください。

- ・災害関連技術図書：<https://www.zenken.com/syuppan/saigaikanren/saigaikanren.html>



○令和6年版の概要

- ・形式：A6判、842頁
- ・定価：2,640円（税込） 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 田中

TEL：03-3585-4546 E-mail：kikaku@zenken.com

＜「公共土木施設災害復旧の災害査定添付写真の撮り方」－令和5年改訂版－ 販売中＞

災害復旧事業の申請に必ず必要となる被災状況等の添付写真について、写真等の事例（分野別）他、留意事項等を取りまとめています。

令和5年改訂版では、国土交通省の「デジタル技術を活用した災害復旧の手引き（案）」を反映したほか、事例写真を多く掲載し、写真撮影時に写すべき箇所、アングル、撮影機材等の情報が分かりやすいように注記を付けています。また、河川、地すべり・急傾斜地、道路、橋梁など、分野ごとに写真撮影時のポイント一覧も追加しています。災害査定の実務に活用していただけます。下記の全建ホームページ（出版物）又はQRコードをご参照ください。

- ・災害関連技術図書：<https://www.zenken.com/syuppan/saigaikanren/saigaikanren.html>

○令和5年改訂版の概要

- ・形式：A5判、カラー、104頁
- ・定価：3,630円（税込） 送料本会負担



【問い合わせ先】 企画課 田中

TEL：03-3585-4546 E-mail：kikaku@zenken.com

＜「公共土木施設の災害申請工法のポイント」－平成27年改訂版－ 販売中＞

本書は「災害手帳」の参考図書として、国庫負担申請にあたってのその範囲の考え方や、復旧工法等の基本的なポイントを、主として技術的観点から解説しています。

＜平成27年版の主な改訂点＞

- ・美しい山河を守る災害復旧基本方針、道路土工指針等最新の技術基準類の内容を反映した改訂
- ・下水道の災害復旧の考え方を新規追加
- ・その他の改訂（河川の最大洗掘深把握と根入れの考え方、橋梁設計荷重の追加等）

下記の全建ホームページ（出版物）又はQRコードをご参照ください。

- ・災害関連技術図書：<https://www.zenken.com/syuppan/saigaikanren/saigaikanren.html>



○平成27年改訂版の概要

- ・形式：A5判、カラー、304頁
- ・定価：2,954円（会員価格：2,363円）（税込） 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 田中

TEL：03-3585-4546 E-mail：kikaku@zenken.com

＜「技術者のための災害復旧問答集」一改訂版一 販売中＞

公共土木施設に係わる災害復旧事業については、基本法となる「公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法」をはじめ、これに基づく政令や通達が定められており、その内容は多岐にわたっています。

「技術者のための災害復旧問答集」では、平成25年に10年ぶりの全面的な見直しを行いました。初めて災害復旧事業に携わる公務員や関係技術者を対象に、事例等を「Q & A」の形式で平易に解説してあります。災害復旧事業のわかりやすいテキストという位置づけで研修等の教材として、また、実務に際しての参考書として活用していただけます。

下記の全建ホームページ（出版物）又はQRコードをご参照ください。

- ・災害関連技術図書：<https://www.zenken.com/syuppan/saigaikanren/saigaikanren.html>

○改訂版の概要

- ・形 式：A5判、254頁
- ・定 価：2,640円（会員価格：2,090円）（税込） 送料本会負担



【問い合わせ先】 企画課 田中

TEL：03-3585-4546 E-mail：kikaku@zenken.com

＜技術図書の4割引サービスを実施しています＞

出版各社の協力を得て、技術図書を4割引で斡旋しています。令和6年度の割引図書リストを更新しました。資格試験に役立つ図書のほか、様々なジャンルの図書を取り揃えておりますので、ぜひご活用ください。

詳細については、下記の全建ホームページ（会員サービス）、QRコード又は月刊「建設」2024年5月号をご参照ください。

<https://www.zenken.com/service/gijututosho/catalog.pdf>



【問い合わせ先】 会員課 小沢

TEL：03-3585-4546 E-mail：kaiin@zenken.com

＜教養・育児図書の2割引サービスを実施しています＞

本会の会員及びその家族の方に限り、教養・育児図書提携3社の厳選された書籍を定価の2割引で斡旋しています。会員のお子様にはもちろん、その他プレゼントとしても大変喜ばれています。ぜひご活用ください。

詳細については、下記の全建ホームページ（会員サービス）、QRコード又は月刊「建設」2024年7月号をご参照ください。

<https://www.zenken.com/service/kyouyou/ichiran.pdf>



【問い合わせ先】 総務課 木下

TEL：03-3585-4546 E-mail：soumu@zenken.com

＜ 全建メールマガジン登録随時受付中 ＞

全建では、建設関係施策及び関連する情報等を月 1 回登録者の皆様に無料で発信しています。毎月ホットな情報を満載し、魅力ある情報を配信する全建メールマガジンです。

どなたでもご利用いただけます。是非ご登録ください！全建メールマガジン登録及び解除は、全建HPの全建メールマガジンのページで、直接ご自身で行ってください。

全建メールマガジンのページはこちらです https://www.zenken.com/zk_mm/zk_mm.html

最新号のメールマガジンはこちらです http://www.zenken.com/zk_mm/back_no/back_no.html

令和6年8月の動き

○ 8月 1日 (木)	機関誌 月刊「建設」8月号発行 特集：令和5年度表彰	発行部数57,300部
○ 8月 1日 (木) ～ 2日 (金)	全国事務局長会議	於：神奈川県横浜市
○ 8月 7日 (水) ～ 9日 (金)	第703回建設技術講習会 i-Constructionとインフラ分野のDX	於：富山県富山市
○ 8月 21日 (水)	福岡市建設技術協会通常総会	於：福岡県福岡市
○ 8月 21日 (水) ～ 23日 (金)	第704回建設技術講習会 道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題	於：岩手県盛岡市
○ 8月 28日 (水)	機関誌編集委員会	於：WEB会議

令和6年9月の予定

○ 9月 1日 (日)	機関誌 月刊「建設」9月号発行 特集：インフラの戦略的な維持管理 ～維持管理の高度化・効率化～	発行部数57,100部
○ 9月 3日 (火)	愛知県建設技術協会 伝承プロジェクト（熊本県）	於：愛知県名古屋市
○ 9月 4日 (水) ～ 6日 (金)	第705回建設技術講習会 これからの公共事業と建設技術者のあり方	於：北海道札幌市
○ 9月 5日 (木)	公共工事品質確保技術者資格試験 試験委員会議（札幌市）	於：北海道札幌市
○ 9月 6日 (金)	公共工事品質確保技術者資格試験 試験委員会議（名古屋市）	於：愛知県名古屋市
○ 9月 12日 (木)	公共工事品質確保技術者資格試験 試験委員会議（仙台市）	於：宮城県仙台市
○ 9月 17日 (火)	公共工事品質確保技術者資格試験 試験委員会議（大阪市）	於：大阪府大阪市
○ 9月 18日 (水)	公共工事品質確保技術者資格試験 試験委員会議（新潟市）	於：WEB会議
○ 9月 19日 (木) ～ 20日 (金)	実地研修会 横浜環状南線整備事業と東京湾アクア ラインの維持管理 ～大規模道路整備と維持管理の取組～	於：横浜市 他
○ 9月 25日 (水)	公共工事品質確保技術者資格試験 試験委員会議（高松市）	於：香川県高松市
○ 9月 27日 (金)	公共工事品質確保技術者資格試験 試験委員会議（福岡市）	於：福岡県福岡市